

| | |
|-----------------|------------------------------|
| 20 陳情 第 15 号 | 性感染症蔓延化阻止のため区内自主検診制度設定に関する陳情 |
| 付託委員会 | 福祉健康委員会 |
| 受理及び付託 年 月 日 | 平成20年3月10日受理、平成20年3月12日付託 |
| 陳情者 | 新宿区歌舞伎町 _____ _____ |

(要 旨)

区が区設の性感染症検診等相談所設置を行って頂くことで新宿区全域での性感染症の蔓延阻止が可能と思われます。区設相談所を設置するよう議会で審査してください。

(理 由)

- 近年、特に若年層を中心として愛する対象者を求め、出会い系サイト等を通じた性における多チャンネル指向、つまりは多重型複数交際が当たり前のようになってしまっている現実で、性的欲求のみに心身共に支配された若い女性達が深刻な性的病原菌を感染へといたらしめる媒介存在である点に全く気付いておらず、又その一部はエイズである場合もあり、それらの正確な実態をつかみ取るような公的機関すら設けられていないのが実情である。海外にもよく知られた風俗の街歌舞伎町を抱える新宿区は絶対と言っていい位、早急にスピード感をもって区内での性感染症その実態調査、特に性風俗営業店に対しては義務的性病検診が正しく慣例化されるべきと考えています。
- 中でも急激な増加をもたらしているクラミジア菌という性的感染菌にいたってはほとんど全てと言ってよい位自覚症状が無く、従いまして感染への恐怖心も彼ら、彼女らには不在と成っています。もしや近き将来で恐るべし新種の性病ウイルス菌が発生した場合、それはきっと手の施しようが無い悪条件がそろい切った正に大きな社会問題へと発展するであろうことは明白なので、実態をつかんで、より蔓延阻止の上で効力のある対処策を是非とも講じて頂きたく、基礎自治体の重要都市、新宿からそれらを強化して頂きたい。